

1. 活動の概要

5月28日(木)、益田市立西益田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに益田市教育委員会の方から学校の近くにある遺跡や、校区で発掘調査した中小路遺跡について、写真を見ながら説明を聞きました。身近に多くの遺跡があることや益田市を代表する遺跡が校区にあることを知って、みんなビックリしていました。その後、教室に展示した土器や石器や古銭を、見たり手に持ったりしました。「この石、ツルツルしている」「この土器は何に使ったの」など色々な感想や質問がありました。

次に「お金の歴史」について埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。その後、「和同開珎作り」に挑戦しました。るつぼの代わりにナベのなかで金属が溶けると瞬間や、鋳型を開ける瞬間には歓声があがりました。金属がうまく流れなかった失敗作はもう一度溶かして再チャレンジをして、きれいな和同開珎が全員の手に渡りました。それからは、ひたすら磨く！磨く！磨く！の作業をしました。みんなピカピカに輝く和同開珎を手に入れました。地域の歴史といにしえの技法を学んだ一日となりました。

2. 活動の様子

1) 益田市の遺跡について知ろう



「学校の近くにはこんな遺跡があります。」



「本物の土器にさわってもいいの？」

2) 古代体験活動～和同開珎作り～



「和同開珎を作る前にお金の歴史を勉強しましょう。」



「溶かした金属を鋳型に流し込みます。」



「鋳型を開けると「やった！きれいに出来ている！」



「なかなかピカピカにならないなあ」「がんばって磨くぞ！」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・和同開珎を昔の作り方で作って楽しかった。
- ・校区に遺跡がたくさんあることがわかってビックリしました。
- ・益田にある遺跡をもっともっと調べたいです。
- ・もっと益田の遺跡や、昔のお金や土器など知りたいです。
- ・もっと昔のモノを見たり作ったりしたいです。

2)担任の先生から…

- 作業を通して学ぶことができ子どもが興味を持ち意欲的に活動に取り組むことができました。
- 「実物を見る、さわる」「専門の方のお話を聞く」「地元益田市の西益田地区の遺跡について説明を聞く」「体験活動ができる」を同時に受けることができ良かったです。

3)埋文センターから

学校の近くにある遺跡や、校区にある益田市を代表する遺跡について説明を受け、その遺跡からの出土品を「見て」「手でさわる」という体験を通じて、地域の歴史や文化に対する興味が深まったようです。

また和同開珎作りでは、うまく鑄造できない場面もありましたが、そのことで逆に鑄造が難しいことを学ぶことができました。普段なにげなく使う「お金」についても、歴史があり、難しい技術が使われていることを学ぶことができました。